

いぬやま未来会議

(仮称) 犬山市協働の
まちづくり基本条例市民会議

NEWS LETTER かわらばん



発行日：平成29年9月27日（第2号）

9月19日（火）の夜、「（仮称）犬山市協働のまちづくり基本条例市民会議」の第2回を開催。今回の参加者は、市民、職員、事務局スタッフ等を含めて27名でした。

山田市長からはじめのあいさつ、前回の振り返りのあとは、全員で意見を出し合いながら会の名称（通称）を決めました。

続いて、5グループに分かれて犬山の強み、弱みについて意見を出し合いました。出し合った意見は模造紙にまとめて発表し、全員で共有。「犬山ってこんないところがあったんだ！」「確かに、ここはよくないね。」と、犬山のことを見つめなおすことができた、有意義な時間になりました。

9月19日（火） 市役所 205 会議室にて

【第2回のテーマ】犬山ってどんなまち？こんなまち！



1 はじめのあいさつ(山田市長)



時代が大きく変化する中、今、どんな条例が必要なのか。市民・行政・議会の役割と責任、自治のあり方、市政運営のあり方を考える機会にしたい。また、決まってないことでおそろかになっていることもあると思う。人口減少の中、私たちのまちを運営する基本的なルールを一緒になって考えるという、この機会が大事であり、このプロセスが良い変化に繋がっていくと考えており、闊達な議論を期待している。

2 前回のふりかえり / 事務局より

3 全体トーク「この会の名称を考えよう！」【part2】

みんなが愛着を持てるような「会の名称（通称）」を考えました。前回の話し合いで出された7つの案を参考に、①呼びやすい②どんな集まりかが外の人にもわかる③商標・著作権にひっかからない、というような視点を持ちながら、全員の納得がいくまで話し合いました。

その結果…

★
★
★ **いぬやま未来会議** ★
★ ★ (略称：いぬみら)

に決定！わかりやすく親しみのある、素敵なお名前になりましたね。

プログラム

1. はじめのあいさつ
2. 前回のふりかえり / 事務局より
3. 全体トーク
「この会の名称を考えよう！」
【part2】
4. ティーブレイク
5. 班分け
6. グループワーク
「こんなまちになったらいいな！」
7. グループ発表&全体共有



4

ティーブレイク

ひとやすみ・・・と思いきや、またもや盛り上がっていました。

5

班分け

6

グループワーク 「犬山ってどんなまち？」



最後に、「犬山の強みと弱み」について5つのグループに分かれて話し合い、模造紙にまとめたものを全体で共有しました。

ここでは、みなさんから出された意見の一部を掲載します。これらの意見を参考に、前文をはじめ、条例がつくられています。

ここがスキ！ 強み・資源

自然が豊か！ビューティフル！

- 木曾川 ●里山

歴史がある！文化がある！

- うかい ●犬山祭 ●犬山城 ●犬山城下町
- 国指定の古墳が2つある
- 京大研、里山学研などの研究機関がある

住みやすい！

- ちょうどいい田舎 ●アクセスがいい
- 名古屋に近い ●水がおいしい

子育て環境がいい！

- 二学期制 ●教育が充実している

市民が元気！

- コミュニティ活動が盛ん

みんな犬山が大好き！

- まちに愛着を持っている人が多い

ここがキライ！ 弱み・課題

田舎すぎる！

- 車がないと不便 ●バスの本数がない
- 遊ぶところが少ない ●お店が少ない
- 田んぼが多い ●道が狭い

観光いまいち！

- 駅前パツとしない ●地域資源生かしきれてない
- お店が少ない ●宿泊までには至らない
- 観光客で道路が渋滞する ●特産品ない

地域の問題！

- 地域間の格差 ●地域間の隔たり
- 市民の一体感がない ●古しげがらみ
- 若者が活動できる場がない ●高齢化
- 少し閉鎖的

市民の問題！

- 内向き志向 ●保守的な人が多い



ギャラリー市民会議



次回は10月16日(月) 19:00より
犬山市役所 205 会議室にて。
テーマは『協働のまちづくり条例の意義・役割って何?』です。

発行
&
連絡先

犬山市 企画広報課 (担当: 小池、渡邊)

TEL 0568-44-0312 (直通)

mail 010100@city.inuyama.lg.jp